

機能毎の病床の状況について

病院名:医療法人和幸会阪奈中央病院 医療圏:西和

※H28年度の列は、別紙1－3「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a)		
			＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)
一般 病床・ 療養 病床	高度急性期				
	急性期	重症	45床	78床	76床
		軽症	120床	32床	32床
	回復期		90床	90床	85床
	慢性期				
	休棟中 (今後再開する予定)				
	休棟中 (今後廃止する予定)				
	(合計)(自動計算)		255床	200床	193床
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
介護医療院					

→

(単位:床)	
(b)	(b-a)
将来 (R8/2026年度) 病床数	H28年度からの 増減 (自動計算)
	0床
78床	33床
31床	-89床
90床	0床
	0床
	0床
	0床
199床	-56床
	0床
	0床
	0床
	0床

(単位:人／日)	
1日平均 在院患者数(注2)	
1日平均 外来患者数(注3)	

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1)最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：医療法人和幸会 阪奈中央病院

医療圏：西和

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

（1）これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

医療法人和幸会阪奈中央病院は一般急性期病棟109床、回復期リハビリテーション病棟45床、地域包括ケア病棟45床の199床の急性期ケアミックス病院として地域の急性期医療と回復期、慢性期医療を担っています。

当院の属する医療法人和幸会グループには、精神科および医療療養型の機能を有する阪奈サナトリウム（四條畷市）、介護老人保健施設パークヒルズ田原苑（四條畷市）、訪問診療を行なっている阪奈中央駅前クリニック、運動療法施設MediTAS ZeloFit（病院併設）、サービス付き高齢者向け住宅阪奈中央さくら苑等があり、多彩な医療・福祉サービスを地域住民に提供できる体制が整っております。

また、付属施設として在宅事業部（訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援、地域包括支援センター）を充実させることにより、地域の医療機関及び福祉施設との連携を密にし、地域に密着した患者さまのニーズに合わせた医療・福祉サービスの提供を目指しております。

関連法人として、看護学校2校・リハビリテーション学校2校の他に幼稚園・保育所を運営する学校法人栗岡学園があります。当院では、将来の医療人育成のため、実習生受入等のサポート体制を充実させ、人材の育成・確保にも努めております。

そして、当院隣接の保育所である阪奈中央こぐま園では、病児保育園も有しお子様がいても安心して学業・仕事に励むことができる環境を整えております。当院の院内には、奈良県立医科大学スポーツ医学研究センターが設置され、大学との連携の充実、当院と関連学校へのロボティックスの導入など、最新の医療知識と技術を積極的に導入しています。

これからも、医療機関と教育機関を有する強みを活かし、医療・福祉・教育の各施設が一体となり地域医療の充実に引き続き貢献していく予定です。

地域連携の強化・人材の育成・診療機能の強化など、地域のニーズに応えられるよう、救急応需率の向上や脳卒中、虚血性心疾患などの急性期診療を充実させ、重症急性期から回復期、在宅医療に至るまで、「断らない病院」と「面倒見のいい病院」としての機能を併せ持ちながら、地域の関係機関との連携を重視し、地域での役割を果たしていきたいと考えております。

（２）今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

常勤3名の救急担当医が在籍しており、日々救急患者の受入れを行っています。増加が見込まれる高齢者の救急要請につきましては、年齢を問わず急性期医療が必要な患者様は積極的に受け入れを行っています。本年6月から開始した「救急ホットライン・お迎えサービス」では、高齢者施設や開業医の先生からの依頼でご自宅や施設まで当院の救急車で患者さまをお迎えに行きます。主治医の先生や救急隊員と当院の救急担当医が直接ホットラインを通じて病状をお伺いすることが出来るためより速やかに適切な治療を開始できるシステムとなっております。

また、当院は回復期リハビリテーション病棟および地域包括ケア病棟や老健を有しており、急性期治療終了後、直ぐに自宅に戻れない場合でも早期の退院を目指してのリハビリテーションを実施するなど、それぞれの状態に合った医療の提供が可能です。

（３）今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

昨年7月に継承した阪奈中央駅前クリニックに本年4月から新たに院長が着任し、訪問診療を充実させ、6月～在宅療養支援診療所として24時間対応できる体制になり、関連施設との連携により在宅での看取りも可能になりました。訪問診療のみでの対応が困難な場合は、当院でのバックアップ体制も確保できており、できる限り住み慣れた自宅等で安心して過ごしていただくようにしています。

当院の隣接地に、訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所（ケアプランセンター）・地域包括支援センターを併設しておりますので、高齢者医療・介護保険・在宅生活への不安や疑問に対しては、気軽に相談を指定いただくことが可能となっています。

（４）今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

医師の確保は、奈良県立医科大学を始めとする関連大学への働きかけを引き続き行っていくとともに、紹介会社を活用しての採用も並行しています。看護師に関しては、系列法人が運営する看護学校からの採用を増加させると共に、近隣看護学校へのPRを強化しています。タスクシフトの一環として看護補助者の確保と配置を行っています。看護補助者で担うことが可能な看護に関する業務は、看護師の負担軽減のために看護補助者を始めとするリハビリ職などの他の職種へのシフトを行っています。なお、看護補助者については、グループ内に日本語科を有していますので、特定技能や介護福祉士などの外国人材の確保もしています。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[1-2]手術の実施

消化器；泌尿器

[1-3]化学療法の実施

実施している

[1-4]放射線治療の実施

実施していない

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

—

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

実施していない

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

実施していない

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

実施している

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

実施していない

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

実施していない

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

実施していない

[2-8]大動脈瘤手術の実施

実施していない

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[2-10]特記事項

—

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

実施している

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

実施している

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

対応している

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

実施している

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

実施している

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

実施している

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[3-9]特記事項

—

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

—

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

有り

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

45

[5-4]訪問リハビリの実施

実施している

[5-5]通所リハビリの実施

実施している

[5-6]今後の方向性

—

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

対応している

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

—

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応していない

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ない

[7-3]上記でありの場合、その名称

[7-4]特記事項

—

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

—

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[9-2]小児入院医療管理料の算定

算定していない

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

算定していない

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

受け入れていない

[9-5]特記事項

—

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

—

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

—

[11-3]DMA T 指定病院の指定を受けているか？

—

[11-4]E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加

—

[11-5]特記事項

—

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

—

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

—

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

—

[13-7]特記事項

—

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

—

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

[15-3]特記事項

—